

小川民報

発行

日本共産党
小川町委員会
編集責任者
笠原武
73-2536

生活相談は
お気軽に
連絡先
本多重信
72-3527
柳田多恵子
73-2562

あなたも節約ください
赤旗
日 刊 ● 毎月 900円
日曜 休 ● 月 800円

若者に未来がない

そんな国に発展があるでしょうか
―国会の論戦から―

臨時国会が開催中です。
10月13日、日本共産党衆議院議員笠井亮氏が、予算委員会、学生の悲痛な実態を突き付け、

解決策を提起しながら、菅直人首相の姿勢をただしました。
一人で百社以上に応募する大学生の就職活動。三年生から授



笠井亮衆議院議員

業そつちのだけで会社周りをしなければならぬ。就職活動の早期化、長期化が学生に耐えがたい苦痛を与えています。
企業任せでは事態は悪化するばかりです。笠井議員は「大学、経済界、政府の三者協議を始めべきだ」と求めました。

内部留保のほんの一部を使うだけでいい

文科省「学校基本調査」によれば、二〇一〇年度の「大学新卒者の進路未定者数」は八万七千八五人とのこと。これだけの人が大学を出ながら「失業者」としての出發を余儀なくされたのです。こんなむごいことはありません。
笠井議員は、大企業がこの一年でためこんだ内部留保（儲け）

農業被害対策の要望書を提出

小川町に

かがやき



今夏の猛暑に起因する高温障害で米、野菜の収穫が打撃を受けています。特に米において

は「彩のかがやき」を中心に品質検査で等級が格下げとなったり規格外が出ており、野菜においては収穫が遅れている物も多いとのこと。

被害農家を支援する県農業災害対策特別設置条例は、高温

障害による品質低下を想定し、ておらず原則収穫減を対象としていますが、今回のケースにおいては条例の適用や農業共済制度の適用など柔軟な対応が求められます。

一、町として農家の現状を調査し、被害状況の把握をおこない可能な支援策を講じること
二、県へ支援策を要請すること

暴落対策として米買い上げを

は十一兆円、この3・4%を使うだけで新卒者十五万七千人を雇えることができることを示し、経済界に新卒者の採用数確保を強力に働きかけるべきだと求めました。首相は「おっしゃることは賛成」と答弁しました。
また、山下よしき参議院議員は、15日、「人間らしい雇用を保障し、日本経済の危機打開を」「有期雇用の使い捨ては許されない 派遣法の抜本改正を」というテーマで、ダイキン工業のひどいやり方を突きつけながら菅首相と論戦しました。



紙智子参議院議員

紙智子参議院議員は18日、決算委員会の質問で、米価暴落へ対策として、政府の米買い上げを要求しました。

労働報酬と比べ米価が最低賃金の半分にもならないと現状を訴え、菅総理も「非常に低い水準だという感覚を受ける」と答えました。



学校が大変になっていきます。小学校へ上がった孫の「通知表」を見て驚きました。各教科に五つも六つも評価の項目があるのです。いやもつとたくさんある教科もあつたと思います。親はそんなに細かく書かれてもよくわかりません。何十人もいる児童一人一人にこんなに書くのでは、それだけで時間がたくさんとられます。本当に必要なのは、先生が直接子どもと接触する時間です。それを削って机の上でする仕事が増えているように感じます。七時、八時まで学校に残って机にかじりついている先生がほとんどのことですがそんなことでいい教育ができつこありません。先生にはゆとりが必要です。そうでなければ、子どものことも落ち着いて考えられませんが、夏休み、今は生徒がいなくても学校へ行かなければいけないようになっていきます。夏休みくらい集中して自由に自分のやりたい研究をやればよい。旅行だって教育には大変役立つことがあります。今、日本の先生方の中には、精神疾患と自殺者が増えていくということ。困ったことです。

官ノ倉三太郎

ジャンボ看板がお目見え

のしんぶん旗ジャポ看板が設置されました。信号待ちしていても自然に目に入ってくる



日曜日お届けする日曜版は月額800円、あなたもぜひ読んでみませんか。

県道小川 熊谷線、小川日赤病院前の一画に土地を持つ地主さんのご厚意により、縦1.5m横3.5mのしんぶん旗ジャポ看板が設置されました。

政治のことや暮らしのこと、特集記事も充実。「しんぶん赤旗」日刊紙は月額2900円、

あなたも読んでみませんか！

東中学校 耐震補強工事の全てが完了

東中学校管理棟の耐震工事予算が計上されました。(予算額2175万円)本年度中に工事が終了する予定です。学校施設の耐震化促進については、日本共産党も強く要望してきました。これで東中学校の耐震補強工事はすべて完了することになります。老朽化の進んでいる西中学

臨時議会が開催

9月30日開会

新消防署造成工事 始まる



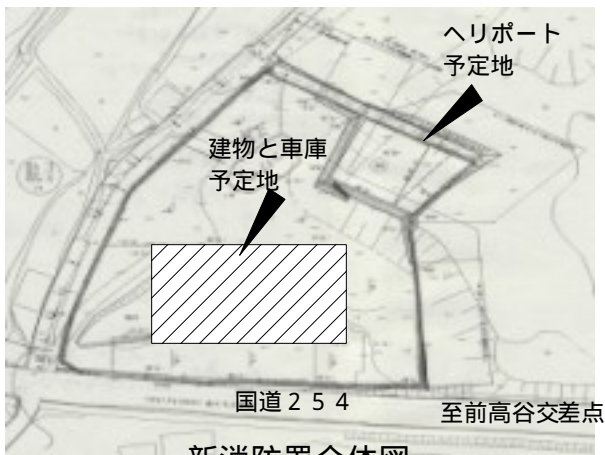
新小川消防署造成工事が請負契約4095万円で大野工務所(東松山市)との間で結ばれました。

校の耐震化については、耐力度調査の結果を経て、平成24年度に改築(管理棟)他の施設は新築すると回答がありました。

来年の3月に工事が終了し、比企広域市町村圏組合に引き継がれます。造成までは小川町の責任で行われ、建物の建設は組合に加入している自治体でそれぞれ応分の負担を行います。平成23年9月〜平成24年10月までの間に完成予定です。



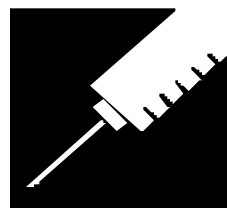
造成工事が始まった上横田の新消防署建設予定地



新消防署全体図

日本共産党の予算要望が実り 子育て支援 で大きく前進

10月から各医療機関でインフルエンザワクチンの予防接種が始まりました。今年は季節性と新型の成分が合わさった混合ワクチンとなります。日本共産党は、毎年町に提出している予算要望書の中で



インフルエンザ混合ワクチンを独自助成

学3年生まで接種費用の一部(1回接種は2600円、2回接種は3600円)が助成されます。病院によって料金がまちまち？

大きな前進ですが、65歳以上の高齢者のワクチン接種料が一律10000円の自己負担であることに比べ、一時立て替え払いで手続きが煩雑であること、医療機関によっては1回の接種料金が4650円〜3500円と10000円以上の開きがあり、それにもなると自己負担が変わってくるなど問題点もあります。住民の皆さんのご意見を聞きながらより利用しやすい制度にするためにこれからも働きかけて行きます。

町民コンサート 今年も盛大に開催

10月16日(土)、恒例となつたおがわ町9条の会主催の町民コンサートがパトリアおがわで開催されました。町内に在住す

る多彩な音楽家の方々の演奏を毎年楽しみにしている町民のみなさんも多いようです。「芸術の秋」を堪能しました。 T

